

2014年
NHK大河ドラマ
決定!

信長、秀吉、家康という
天下人からも
その才を認められた
類いまれな戦国の知将
黒田官兵衛。
2014年のNHK大河ドラマ
「軍師官兵衛」も決定!
播磨が誇る偉人の足跡を
たどりましょう。

黒田官兵衛

妻鹿の史跡を訪ねましょう



国府山城
想像絵図

※イメージです。©Kazuki Motoyama

国府山城址

別名妻鹿城、功山城。官兵衛が自らの居城であった姫路城を秀吉に明け渡し移り住んだ城。山上に登ると姫路城が美しく見渡せ、見事なところに城を築いたことに改めて感銘を受けます。

- 登山口まで妻鹿駅から市川沿いに北へ徒歩約10分
- 山上までは登山口から約20分

※国府山山上への登山道は未整備の雑木林で、険しい山道や滑りやすい所もあるので、ご注意ください。照明等の設備はありませんので、日没間近の登山はお控え下さい。また、小さなお子様はご注意ください。



ゆかりの



黒田職隆廟所

国府山城で病死した官兵衛の父・職隆の墓所。住宅地の間にひっそりとたたずんでいます。地元の方々からは「筑前さん」と親しまれています。

- 妻鹿駅から北東に徒歩約5分

堂々とした五輪塔が据えられた廟所。



黒田二十四騎画帖より(福岡市博物館所蔵)

黒田節の母里太兵衛友信は妻鹿の人

黒田節は、太兵衛が福島正則との酒席の賭けに応じて酒を飲み干した後、秀吉下賜の名槍「日本号」を手にして悠々と辞去する姿を詠ったもの。

播磨の黒田武士顕彰会 副会長 神澤輝和さんが、個人で収集した黒田官兵衛・長政の甲冑のレプリカや名槍「日本号」の实物大写真をはじめ黒田家まつわる貴重な文献などを「播州黒田武士の館」として公開・展示されています。個人施設のため、ご来館をご希望される場合は事前に連絡してください。(連絡先: 079-245-4685)

- 妻鹿駅から南へ徒歩約15分(姫路市妻鹿東海町107)
- 入場無料 / 10:00~16:00

※写真は実際の展示と異なる場合があります。



黒田官兵衛(如水)

黒田官兵衛は天文15(1546)年、姫路城で生まれました。戦国時代の末期、織田信長に味方し、信長配下の羽柴秀吉(後の豊臣秀吉)と共に播州平定、中国攻めで活躍しました。生涯50回にわたる合戦で一度も負けを知らなかった天下一の軍師です。秀吉をして、その智力の鋭さに恐れを成し、警戒心を解くことはなかったと言われています。隠居後の号・如水とは、水の如く清らかさや柔軟さを表していると考えられています。

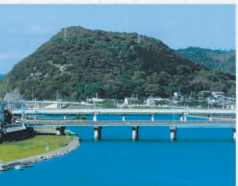
黒田官兵衛の【名言】

- 「人に媚びず、富貴を望まず」
- 「神の罰より主君の罰おそるべし。主君の罰より臣下の罰おそるべし」
- 「自ら活動して他を動かすは水なり」
- 「自ら潔くして他の汚濁を洗い、しかも清濁併せ容るるは水なり」

- 天文14(1545)年
黒田職隆、播磨御着城主・小寺政職より「小寺」姓を与えられ、姫路城代となる
- 天文15(1546)年 11月29日
孝高(幼名:萬吉/通称:官兵衛)職隆の長男として姫路城に生まれる。母は明石正風(明石城主)の娘
- 永禄10(1567)年……22歳
志方城主・備前伊豆の城と結城父職隆隠居し、家督を継ぐ
- 天文4(1576)年……31歳
[英賀合戦]毛利元就の孫・浦上宗景が率いる5千余の大軍を英賀で迎撃。幕兵500で大破する
- 天文5(1577)年……32歳
7500の兵を率いて播磨に下ってきた秀吉を迎え姫路城を提供する
- 天文6(1578)年……33歳
[三木城攻め]三木城の別所長治が毛利方に寝返ったため、これに同調する荒木村重を討伐して有岡城に赴くが、城中に閉居される
- 天文7(1579)年……34歳
有岡城の落城により牢獄から救出される。「黒田」に改姓 国府山城を築き、父職隆と共に移る
- 天文10(1582)年……37歳
[備中高松城攻め]
秀吉に従い備中高松城(岡山県)攻めに向かう(山崎の合戦)羽柴秀吉の中国大返しを支える
- 天文16(1588)年……43歳
豊前(大分県)の一揆を平定。この年中津城に移る
- 天文17(1589)年……44歳
家督を長政に譲る。これより「如水」と号す
- 慶長5(1600)年……55歳
[関が原合戦]
九州で西軍の城を攻略
- 慶長6(1601)年……56歳
筑前(福岡県)福岡の地を「福岡」と改称し、築城を始める
- 慶長9(1604)年……59歳
伏見の藩邸で死去



官兵衛合子形死闘丸足 (福岡市博物館所蔵) 藤本健八 撮影



市川下流から国府山を望む。



国府山山上からは姫路市街が一望できる。



妻鹿(国府山)城址碑。

目薬の木

司馬遼太郎の「播磨灘物語」には、黒田官兵衛の祖父・重隆が姫路市街を一望する広峰山上の広峯神社で暮らしながら、「目薬の木」で目薬を作り、財を成したと記されています。

※メグスリノキは日本国内だけに自生するカエデ科の落葉樹。「長寿の木」「千里眼の木」とも呼ばれます。

国府山登山口に植えられた木。

海、まち、人をつなぐ
山陽電車